

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 ぐるーぷほーむ やすらぎ
 作成日 : 平成24年10月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	分かりやすく詳細な議事録であり、リビングカウンターなどに置き家族へ開示することで会議の目的にも繋がると思われる。	2ヶ月に一度の運営推進会議の内容を開示する。	運営推進会議の議事録を定期的にファイリングし、家族等へ開示出来るようにする。	6ヶ月
2	10 (6)	意思疎通が困難な入居者へは表情や行動を推しはかりながら支援しているが、管理者はそれが、本当の入居者の気持ちなのか確かな答えはないとして、今後もしっかり対応していくとしている。取り組みに期待したい。	利用者様の精神状態は、様々な状況、条件で変化し、大まかな安定要素を踏まえたサービスで、ある程度の落ち着かれる支援は可能だが、もっと良い支援がどうなのかという疑問や、不確定要素からくる偶発的な不穏因子への対応などへは、分析的な対応を徹底し、利用者様へ心地の良いサービスを提供する。	意思の疎通が困難なご利用者様への表情チェックシートの活用や、屋のカンファレンスのTカード対応などで、本人の心地の良いサービスについて具体的に分析できる方法を使い、質の高いサービスの提供を試みる。	12ヶ月
3	33 (12)	今後は重度化や終末期に向けた対応について、方向性をホーム全体で話し合い、母体医療機関が隣接しているが必要に応じた職員研修の開催が必要と思われる。	定期的な重度、終末期対応についての研修をしていきたい。	病院の経験豊富な看護師より、重度化対応の基本や、終末期対応の基本を教えて頂けるような体制作りを検討する。	12ヶ月
4	35 (13)	火災・自然災害について地域との防災の取り決めについて検討したり、日々の火元確認に加え、定期的にホーム回りやコンセントの安全確認等記録に残す事で更に災害対策が強固なものになると思われる、取り組みに期待したい。	運営推進会議、職員会議等を通し、地域での火災・自然災害について対応を具体的に検討し、施設職員で迅速に対応出来る努力をしたうえで、地域の方との連携を図る。また、自事業所での安全確認を具体的に強化する。	運営推進会議、職員会議での地域防災・災害対策の検討を行う。施設職員の事業所安全管理として、記録を通して実施するように検討する。担当者や場所や記録をできるように実施する。	12ヶ月
5	51	椅子に取り付けられた杖の収納箱に、一工夫をする事でより温かみのある手作り感が出ると思われる。職員のアイディアに期待したい。	利用者様の日々の生活で、少しのアイデアとして使われるものに対して、デザイン性を考慮して、見た目や快適性を追及する。	まずは、利用者様の杖置き装飾を利用者様と職員で行い、その他の部分への、絵や花等の装飾を検討し生活が明るくなるように心掛ける。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。